

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第1回美幌町新エネルギー導入推進委員会
開 催 日 時	平成28年 7月 28日 (木) 午前10時 00分 開会 午前11時 30分 閉会
開 催 場 所	役場別館1階会議室
出 席 者 氏 名	田村(淳)委員、倉知委員、横山委員、阿閉委員、千葉委員 田村(博)委員、佐々木委員、枝澤委員
欠 席 者 氏 名	野口委員
事務局職員職氏名	矢萩経済部長、後藤商工主幹、伊成耕地林務主幹、佐藤商工労政担当
議 題	・報告事項 (1) 庁内検討委員会について (2) 平成27年取組経過報告について (3) 第2次美幌町地域新エネルギービジョン素案について (4) エネルギー政策の最新情報について ・協議事項 (1) 第2次美幌町新エネルギービジョン素案についての協議 (2) 第2次美幌町地域新エネルギービジョン素案の承認について (3) 平成28年度の取組について (4) 今後の委員会について
会議の公開又は非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	設置規程、平成27年度取組経過、新エネビジョン導入年次計画、エネルギー施策資料、新エネビジョン素案の概要、新エネビジョン素案
会議録の作成方針	☒ 録音テープを使用した全部記録
	☐ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村委員長	1 開会 平成28年度第一回美幌町新エネルギー導入推進委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しいところ委員会にご出席いただきましてどうもありがとうございます。美幌町は太陽光ですとかバイオマスですとか色々な新エネルギーを導入するということで積極的に活動をされておりますが、それを後ろから支えると言いますか、色々な形で意見を述べるのがこの導入推進委員会の役割ということで、日頃からこの活動に対してご協力いただきましてどうもありがとうございます。新エネルギーを導入しなくてはならないということは、最終的には低炭素いわゆる炭酸ガスの排出を減らしていこうというのが最終的な目標に入るわけですが、去年の11月から12月にかけてパリでCOP21のパリ協定がされまして、世界中で地球温暖化を食い止めようということが約束されまして、日本も結構厳しい状況にあるということで国をあげて炭酸ガスの排出を削減するという所に向かって行かなくてはならないという状況になっていまして、そういう中で美幌町も色々な形で新エネルギーを導入することによって炭酸ガス排出を減らしていく、という活動をされているということで立派なことだということで私も横から見ながら感心していたところであります。本日は色々協議の事項があるようですが、中でもやっぱり美幌町の新エネルギービジョンの策定ということが大きな議題ということでして9年前に、最初の新エネルギービジョンを策定されまして、今回第2次ということで素案等が出来上がっておりますのでそれに対する色々な意見をいただくというのが大きな中身の一つになってございますのでどうぞよろしくお願いします。それでは事務局の方からご報告があるということでよろしくお願いします。
事務局	2 挨拶 おはようございます。事務局の経済部長矢萩です。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 エネルギー問題につきましては、冒頭で委員長からお話がありましたように全国的にも重要な課題と注目されている中で本町においても太陽光をはじめとした様々な取り組みを行っております。またご承知のとおり、本町でも木材を活かしたまちづくりを取り進めており、豊富な森林資源を何とか有効に活用したいという思いもあります。これらを含めた新エネルギーの促進につきまして再度、皆様のご協力をいただきながら取り進めて参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村委員長 事務局	それでは3番の報告事項の方に入らせていただきたいと思います、（1）の庁内検討委員会についてお願いいたします。 3 報告事項 （1）庁内検討委員会について （資料1について説明）
田村委員長 事務局	ただいまの件につきましてなにか質問等がございましたらお願いしたいと思います。 よろしいでしょうか、続きまして（2）の平成27年度取組経過報告についてお願いいたします。 （2）平成27年度取組経過報告について （資料2について説明）
田村委員長	ただいまのご説明に対し何か質問等あればお願いしたいと思います。
枝澤委員	住宅リフォーム促進事業はある程度全面改修しないと該当しないということなんですね、リフォームの50万円以上のやり方なんですけど、トータル金額の中に太陽光の部分も入っているのか、10万円しかモニターは見ないのか。 これは相当額が10万円であるのかどうかは分からないんですけども、上の方の太陽光システムはそのモニターのシステム自体に10万円、ですが下の住宅リフォームの方は、今ご指摘いただいたとおりリフォーム金額の全部の中で含まれた金額でしかないです。
佐々木委員	太陽光だけでやる人もいると思うし、太陽光と屋根直した壁直したっていうその合算の中の、でもマックスで50万円、2割しか出ないので、500万円かかれば250万円でマックスになるじゃないですか、20%で。だから、太陽光だけでみても太陽光だけで250万円以下ってなかなか無いのでは。
枝澤委員 事務局	太陽光だけではリフォームにはならないということですか。 太陽光だけでもリフォームになります。 そしてもう一点私の方で誤った情報をお伝えしてしまいましたけども、今のリフォームと別でその補助金も使って上記にある太陽光モニターの補

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	助金も両方使えますので、50万円丸々リフォームの方に使っていただいて太陽光モニターの方に応募すればそっちで10万円貰えるというような制度になっています。 上のモニターの方は委託ということで結局一回報告をいただきます。住宅リフォームは補助金なんですけど、モニターは委託ということで、両方併用できますよという考え方です。
佐々木委員	これは補助金という名目だと出せないんですよね。
事務局	そうですね。当初、今はなくなってしまったんですけど国からも太陽光の設置補助金があったためモニター委託と言う形にしておりました。
枝澤委員	他町村との比較が無いのでわからないんですけども、美幌町はどのくらいのレベルなんですかね。
事務局	大変申し訳ないんですが、持ち合わせている数字がございません。課題とさせていただきます。仰るとおり、やはり他との比較が無いと評価も出来ないと思いますので。
枝澤委員	美幌町が上に行っているのか平均並みなのか分かると良いですから。
佐々木委員	間違いでなければ、美幌町は太陽光など補助金を行っておりますが美幌町さんは手厚いです。他町村に関して網走市はデータでありましたが、5万円です。
枝澤委員	それであれば上位の方ですね。まあ、比較があれば美幌町の取組はどれくらいなのか分かるので紹介などあっても良いかと思います。
事務局	今後、来年29年度予算に向けて10万円という金額が良いのか妥当なのか継続するべきなのかその辺も含めて今後検討していくということで課題にはあげています。今資料を持ち合わせてないのですが、設置に関する補助金等は管内については全部調べて準備している状況ではいます。
田村委員長	私からなんですが、クリーンエネルギー自動車はハイブリッドで良いん

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	ですか、EV（電気自動車）は含まれていますか。
	はい、EV も含まれております。
田村委員長	その他いかがでしょう。 あれですね、昨年度１年間で２２００トンくらい炭酸ガス削減されて、これ人間にすると２２０人分ぐらいですね。日本の場合、国民一人当たり年間の排出量１０トンですので、なので約２２０人分炭酸ガスを削減したということになります。 その他いかがでしょうか、よろしいですか。それではこの件は以上にさせていただきます。それでは（３）第２次美幌町地域新エネルギービジョン素案についてお願いいたします。
事務局	（３）第２次美幌町地域新エネルギービジョン素案について （第２次美幌町地域新エネルギービジョン素案の概要、素案について説明）
田村委員長	それではこの新エネルギービジョンの素案につきまして何かご意見等ありましたらお願いしたいと思います。
枝澤委員	有数なカラマツ林が美幌町の周辺にあり、全国の中でもカラマツ林がこれだけ所有しているのは無いんですね。道内でもそうだし、だからカラマツ林のこの所有率とこういう普及っていうのは早く言えばオンリーワンで売っていけるような題材なんです。それとその低炭素のまちづくりと上手くリンクすると世界にも発信できるような状態になるんですね。そこにCO2の問題を入れ込むと注目やアピールも出来ると思うんですね。美幌町はカラマツを中心としてやっていいと思うんですね。
事務局	この３８ページ以降の部分でも結構PRはさせていただいております。
枝澤委員	バイオマスだとかそういうのも色濃くしていった方がいいかなと思います。もう少しアイデアと上手くマッチングしたような木材の町みたいな、利活用する部分に力を入れた方が一般の町民には見えてくるんじゃないかと思います。
事務局	ありがとうございます。もしよろしければ最初の部分で、背景、目的

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	とありますけれども、美幌町の特徴というものもまた入れて表紙の部分で、うちはこの町だよ、というのをもう少しアピールして、それで取組に関して後半の部長の矢萩からもありましたけれども、３８ページ以降でこの持っている資源をこういう風に今活用していてこれからどうやって発展していくというのも入れさせていただいてもよろしいでしょうか。
枝澤委員	写真まで差し替えるとは言いませんが、木材を中心とした感じにするとかしたら良いですね、どちらかというとこれは観光ベースみたいな感じにはなってしまうんで、美幌町と言えば美幌峠なんで消せないと思うのですが、低炭素のまちづくりを考えると、森がいっぱいあるよとか活用するっていうので行った方が良いのではないのでしょうか。
事務局	ありがとうございます。
田村委員長	その他いかがですか。
佐々木委員	ペレット、木質バイオマスの町内業者の美幌運送さんが年間７０トンの製造をされていると資料にあるんですけども、平成２５年までペレットストーブの導入は４１台で、今現在で行くと、今の製造量では足りなくなっているんですね。町内の業者さんで増産できるような取組をされているのでしょうか。資料の中では事業として成立するのは１５０トンという風に書かれていますけれども、その１５０トン目指して導入は増加量は年間１８．５トンでそのペースで行くと足りない状況ですし、導入されている方は町外のところからペレットを買われているはずなんですね。そうすると、低炭素なんですけどもせっかく必要な物であれば町内で経済を動かせるようなものの取組もやった方がいいのかなと思いますね。
事務局	ペレットを製造していることについては今、大体総稼働で１５０トンがベースです。この７０トンについては、Ｂ＆Ｇのボイラーに使用させていただいています。一般家庭については、町外から購入して使われている現状でございます。このペレットの製造能力をあげるということであれば機械を全部入れ替えなきゃ出来ないということもありまして、今現在の能力でも赤字みたいなんです。それは社会貢献でということで作っていただいているんですけども、本当にプラスにしていけるのであれ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	ばペレットストーブ自体を100台以上設置してあとは業者さんをお願いするしかないんですね。
枝澤委員	ペレットはものすごいエネルギーコストがかかり、逆算すると作るのにもエネルギーコストがかかるということで、お隣さんの津別町は製造が一定の規模があるから、特化して美幌町はチップの生産の方に力を入れるだとかどれに力を入れるだとか絞ったらいいいと思います。
佐々木委員	資料3の中のCO2を使っているカウントなんですが、ストーブを設置したということだけでこのカウントが出来てしまうということですか。何が言いたいかというと、その町内業者ではペレットを作りきれない、美幌町の中でペレットを極端に言うとは生産していない、他所から買っている、津別町で作ったCO2のカウントって言うのはストーブの台数に対してカウントしているのか、それかどこで出来たペレットとは関係無しにCO2削減としてカウントできるということでしょうか。
事務局	別で資料をつけていなく申し訳なかったんですが、これは使用量で算出をしております。化石燃料を使用した場合とペレットを使用した場合の差ということで、計算式は前回のエネルギービジョン時にはその計算式も載せていたのですが、あまりに複雑だったので今回は私の方で載せておりませんでした、申し訳ありません。
田村委員長	そもそもペレットを作ったのが美幌町外の人を作ったのであれば、結局美幌で削減したということになるのか、ということになりますよね。ですが使用した人は美幌の人ですからね。
事務局	課長のご指摘とおりですね、ペレットに限らず他の熱源に関しても実はそういう使用量に対しての計算をされているので、本当にこれが純粋な削減量なのかというのは実はご指摘通り全ての項目に当てはまるということでありまして、そういった意味も込めて、今後同じやり方でやっていくのがいかなものかという考えもあって、詳細で目標値など設定していないというのも実際の所です。
田村委員長	私からいくつかよろしいでしょうか。 話全く変わりますけれども、3ページあたりからなんですけれども、新エ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	エネルギービジョンを一環しているということは低炭素というのが一環した目的なわけですね。ところがなんで炭素を減らさないといけないか、そもそもの話が最初にあっても良いのではないかと僕は思っているんですけども、町民も対象にしているんで何も分からない町民がぱっと見たとき、何で炭酸ガスを出さなきゃいけないのっていう素朴な疑問を持ったときに、それがどこにも書いていないので半ページぐらいで良いですからその理由が分かり易い形であったり新エネルギーの概念整理があったら良いかなと思いますね。 4、5ページには地熱発電があって、フラッシュ発電やシングルフラッシュ、バイナリなどすごく専門的なのを書いてありまして、あんまり馴染みのないものが凄く詳しく書いてありまして、一番馴染みの深い太陽光とかバイオマスなんかは6ページに一覧表な感じでしか無いというところなので、例えば太陽光やバイオマス辺りは一番未来柱なのでもう少し分かり易く説明してあげたら良いのではないかなと思います。特にバイオマスについては分かっていない方が多くて、チップに関しては燃やしたら炭酸ガス出るのに何で炭酸ガス削減になるのって素朴に思っている人がいるんです。そこを説明してあげないといけないですよ。木材というのは放つといっても腐ると全部炭酸ガス排出して最後無くなるので、要するに木材の中に炭酸ガスを溜め込んでいますよね、それを腐った段階で全部排出してなくなる、だから放つといっても炭酸ガスが出るのでそれを燃やしてエネルギーに変えてあげれば出たエネルギー分だけ他の燃料を使わなくて良いのでそれで炭酸ガス削減になるわけです。ということを知っている方が多く、そういうことを書いてあげると、チップって燃やすと炭酸ガスは出るけど貢献になるんだねって分かるようなことをちょっと書いてあげたら良いのかなという気はいたしました。私のとこの学生も同じ疑問を持っていました。 佐々木委員 一般の方って、緑色の葉っぱは二酸化炭素を吸って酸素を減らすんだ、ぐらいの所で止まっているのかもしれない。そこプラスその後どうなるの、放つといっても朽ち果てていくよと。朽ち果てたときに炭酸ガス出すんなら燃やしてエネルギーに変えて石油などの出さなきゃならないのを減らすっていうフローが必要ですよ。 事務局 かしこまりました。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村委員長	その他いかがでしょうか。
阿閉委員	私の方からなんですが、ペレット又はチップで焚く場合がありますがうちの方ではチップを使用していて、かたや B&G さんの方ではペレットを使っているんですが、この取扱い、方針というか今後の流れで考えて美幌町さんも将来に向かって庁舎の建て替えだとかそういったこともあると思うんですよ。それに向けてのボイラーの扱いについての現状についてはチップで行く、またペレットで行くかその辺のある程度の考え方があればまた私たちも木材を扱う業者として組合として今後も色んな方針については考えていけるのかなと思いますね。
事務局	ありがとうございます。
佐々木委員	ペレットとチップで火力に違いはあるんですか。
事務局	ペレットの方が火力はあります、乾燥させて燃やしているので。ただ、チップも乾燥させてやれば同じような火力は可能だと思うんですけども。あと、金額的にやはりチップの方がコストは安いです。B&G の方は要するに灯油より数値的に高いと出ています。今後、公共施設に導入するとなれば金額的にはチップの方がベターなのかなと思っています。ただ、公共施設でペレットを入れるのか計画的には今の段階では無いので、推進はしているんですけども。
佐々木委員	そうすると、ペレットってコマーシャルして良いんですかね。
事務局	家庭用でチップを使うっていうのは不可能なので、それでペレットっていうことになっております。
阿閉委員	岩手県の住田町の庁舎の方に私行かせてもらっていたんですけど、裏の方にペレットのタンクが5つぐらい並んでいましたね。
佐々木委員	ボイラーって両方使えるんですか。
事務局	両方使えます。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	となると、B&G さんもチップ燃やして一般家庭向けに年間 7 0 トンのチップを何とか販売した方が。出来るだけ他所から購入してもらわないような方が。
事務局	両方使えるのですが、燃料を送る装置を変えなきゃいけません。タンクからボイラーの方に。材質が違うので。
田村委員長	改造が必要なんですね。すぐどっちも燃やせるわけではないんですね。
枝澤委員	相当昔からペレットに関わっていますが 1 0 年スパンぐらいの見通しを立てて計画していかないと成功しないですね。とりあえず、生産しているところでいつ津別町さんがダメになるか分からないという状態になりますから、ペレットを作ることにもものすごいコストがかかるもんだから、木材の供給や流通過程とか木材の仕組みからまずマッチングしていかないとですよ。美幌町は出来そうな雰囲気はあると思うんですよ。仕組み作りというか。
阿閉委員	突っ込んだ話をすると、木を伐採してまた再造林っていうようなのが真っ盛りでして、育てて間引きして始末していく形になっていく中で、伐採したあとの植える前の段取りというか枝を寄せて植えられるようにするという作業時に材を利用出来ないかなと色々と模索はしているんですけど、中々次どうしたらいいのかなっていうのが出てこないんですよ。その方針さえある程度決まれば一体的に町民と進めていけるかなと思ってます。土場まで集めてきた木を使うのであればコストはそんなにからないんですが、やはり山に散らばっているのを集めるのが一番かかりますね。
田村委員長	今の話って、方針としてバシッと決められれば良いんですけど、このビジョンには到底間に合わないので、課題のような形で書き込んだらいかがでしょうか。
事務局	そうですね、今いただいた意見はページを割いて、やはりみんなの目に触れていただくのが一番良いと思うんです。なので、この委員会から発信してあるいは町長の方針も変わるかもしれませんし、何かの決定の参考にするかもしれませんのでそういう場であっていただきたいなと思います

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村委員長	し、今のご意見掲載させていただきたいと思っております。 これ一番最後に描かれる将来像ってありますから、そこに課題も当然入ってよろしいんじゃないですか。
事務局	そうですね、おっしゃるとおりです。
佐々木委員	B&Gのボイラーの燃料を送る装置を変えると何百万もするんですか。
事務局	ちょっとそこまで記載した紙が無いんですけども、送る装置とチップの小屋自体を建てないとダメかなという感じなんです。今ペレットのように後ろにポンと送るようなやつから送っているんです。
枝澤委員	峠の湯みたいな感じですね。
倉知委員	先生が仰ったようにエネルギービジョンとしては、ペレットかチップかって決めるということは別にこの場で検討しなくても良いんじゃないかと思えますけどね、それぞれ良いところがあるし今まで進めてきたこともありますからね、今示されていることは今まで進めてきたことをこれからも進めていきますっていうことですよね。
事務局	はい、そうです。
倉知委員	それでいいと思えますけどね、今まで取り組んできた人もいるのでここでまた方向転換するとペレット使っている人はどうするのってなるので、ただそれぞれの問題とかは先生が仰ったように課題としてこういうことがありますって整理しとくべきだと思いますので、この場でペレットかチップどっちが良いとかを決めるべきではないと思うんですよね。
田村委員	そうですね。ペレットの公共では23、24、25、26とほとんど0なんだけど、民間で徐々に増えているんですよね。だから、民間の方が関心あるわけだから、倉知さんが言ったようにペレットを個人的に好む人が増えてくるでしょうし、それはそのまま流していかないと話がおかしくなるという感じはします。こういう方向性がありながらやっぱりビジョンというのはそれを支える、人材についてたとえば森とか色んな話とかしてい

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	ますけども、一つはペレットの製造能力も然り、逆にいけば森作りの人材がかなり年を取っているな、という情報が入ってきているのでやっぱり色んなビジョンを支える人材作りも大きな課題になるんじゃないかと感じますね。それと観光については、森は学習効果だけを触れているような気がするんですけども、一方で観光だとか商工会議所だとか色んな連携ありますよね、森と観光っていうのはどんな風に関連づけられるのかなとかというところも一つ今後色んな町内の方々と連携する中では検討する課題じゃないのかなと考えていくかと、方向性としてそのようなことも一つあるのかなと思います。
事務局	よく体験型の観光だとかそういうような話もありますよね。
事務局	ありがとうございます。
田村委員長	色々と意見が出たようですので、これをぜひ反映してビジョンの方を完成させていただきたいと思います。
事務局	方向性としてはこういう方向性でよろしいということですか。
田村委員長	はい。ただ、色々な課題があるのでそういうこともきちっと書いて欲しいと意見もありましたので。 その他よろしいでしょうか。 それでは新エネルギービジョンの素案については以上にさせていただきたいと思います。次は、（４）エネルギー政策の最新情報についてということで、お願いいたします。
事務局	（４）エネルギー政策の最新情報について （資料４について説明）
田村委員長	何かご意見、質問等ありますでしょうか。 それでは、特に無いようですのでよろしいでしょうか。 協議事項の方の（１）、（２）は済んだということですのでよろしいですね。
事務局	４ 協議事項 （１）、（２）の協議事項省略 （３）平成２８年度の取組について 今年度の取組についてだけご紹介させていただきます。木質バイオマス

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	利用に関してですが、現在チップ、ペレットどちらも進めている状況でございます。太陽光発電導入についても先ほど後藤から話がありましたが、システム設置モニターということで、今まで委託料をお支払いしていたのですが他の市町村も大分切り替わりまして、設置に対する補助金に切り替えることを検討しております。バイオマスの燃料に関しては先ほどご報告させて頂きました、製造を再開して今まで通りの製造を検討していくということを考えております。クリーンエネルギー自動車に関してですが、担当部署から公用車一台を導入することの報告を受けております。ハイブリッドであり、電気自動車でも MIRAI でも無いのですけれども、まずはそこからということで、状況としたらライトバンの用途が役場として多くて、コストなど考えて少しずつしか導入できないと聞いております。普及活動に関しては、今後もエネルギー教室や子どもたちへの教育あるいは、植林の事業などそういったものを引き続き行っていき、逆にそこに力を入れなければいけないのかなと感じております。その他のエネルギーに関してですが、小水力発電の方も継続して行っております。日並浄水場です。あと、先ほどお話いただきました町民会館の地熱発電を利用したヒートポンプの採用、そして運用です。町民会館のヒートポンプなんですけど、建築の担当者から話がありまして、町民に広く理解をしていただくために見える化をするそうです。外によくある、今どのぐらいの電力量でどのぐらい使っていますというようなメーターが付くのかなと想像をしております。先ほども途中お話で出ました J-VER、J クレジットの運用に関しても検討を重ねながらより良い道を模索している段階でございます。各エネルギー源に関してあるいは普及活動に関しての取組は以上です。
田村委員長	何かご質問等がありますか。
枝澤委員	計画みたいなのはいつ策定されますか。
事務局	計画なんですけども、先ほどお話しさせていただいたんですが現段階で目標数値は設定しておりません。ですが、このあと（４）でお話させていただこうと思ったのですが、皆様にお集まりいただいてこのような意見も頂戴して数値の共有というのは今後もどれぐらいの CO2 削減量だによってというのは考えさせていただきたいと思います。
田村委員長	その他いかがですか。特になければ最後の（４）にいきます。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	よろしいでしょうか。 （４）今後の委員会について 今お話しさせていただきましたけども、計画に対して取り組んでいくことはこれから引き続き継続して同じ項目を続けて参ります。目標は立てませんけども CO2 の削減量に関しては皆さんと共有し、また町民の方にも報告する義務があると思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。今後の委員会の運用なんですけども、途中でも話がありましたとおり、町の方針がしっかりと定まっておられませんのでこの委員会の意見をぜひ町長に参考にしてもらうだとか、町民への理解を深めるための策を練る場であっていただきたいと考えております。ですので、引き続き年１回程度を予定しておりますけれども、必要であれば、随時開催も視野に入れながらなるべく皆様のご負担にならないようにという風には考えておりますので、引き続き委員会としてご協力をいただきたいというお願いでございます。
事務局	佐藤の方も話しましたが、それぞれの各委員の皆さんがそれぞれの分野で最先端と言いますか、色々と情報等をお持ちですのでそういった中でお知恵をお借りして情報交換を図りより良い形で進めていければなと思っておりますので、よろしくお願いします。 ご指摘いただきまして修正の方も重ねて参るんですが、８月１０日を目途に素案の方をご覧になっていただいて、他にもご意見等ありましたら、どのような形でも FAX でもメールでも結構ですので、ご連絡いただきたいと思います。その後、この素案の方をもう一度作り直して皆様にご提示して GO サインがいただけましたらこの後、経済建設常任委員会というところにこちらを提出して、その後このビジョンを正式に取り扱うという運びにさせていただきたいと思っております。
田村委員長	その他ありますでしょうか。 それでは特にないようですから以上で推進委員会の方を終わりにさせていただきたいと思います。本日は活発な非常に良い委員会となりました。ありがとうございました。今後ともまたどうぞよろしくお願いします。どうもありがとうございました。
一同	ありがとうございました。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）